

(5) 教育研究推進計画

1 研究主題

主体的な学びにつながる自己指導能力の育成

～コミュニティ・スクールとの協働を通して～

2 主題設定の理由

(1) 令和7年度の実組

【研究主題】

基礎・基本の定着を図る授業の工夫・創造
～ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を通して ～

【取組内容】

① 個に応じた授業実践

1) 発展的な学びのための生徒へのしかけ(自身のさらなるレベルアップへの挑戦)「Step up」

【具体例】「発展問題を与える」「考えを説明させる」「課題を設定させる」

2) 基礎・基本の定着のための生徒への手立て(授業に参加)「Motivation」

【具体例】「ドリル学習の実施」「学びを調整させ、生徒に主体性をもたせる」

3) 学びを深め、新たな課題を設定する場の設定(自分の考えを表現する)「Presentation」

【具体例】「アウトプット型の授業の確立」

・気づきや考えを全体場で発表させる

・授業のまとめを発表させる

・「なぜ？」を大事にし、繰り返し発問で授業をつなぐ。

② 生徒に学びを選択・調整させる場の設定

【具体例】「適用題の工夫」(ABC問題(A問題:本時の学習で学んだ内容とほぼ同じ, B問題:本時の学習の学びでの表現を少し変えたもの, C問題:発展的・入試を意識した問題)を与え、個に応じた問いを与え、評価する。)

【具体例】「単元内自由進度学習の挑戦」

・単元の見通しを持たせ、進める生徒はどんどん進ませる。進めない生徒は、評価がBになるように個別の支援や課題を与える。

③ 生徒の学ぶ意欲を向上させる仕掛け

【具体例】「定期試験の問題を授業の内容100%にすることで、生徒にやればできる、やらないからできないという体験をさせる。」

「宿題や家庭学習の与え方、問題集の解答の配り方を工夫するなどし、基礎・基本を確実に定着させ、学習に対する自信を持たせるとともに家庭と学びをつなぎ、学習への不安を取り除く。」

(2) 生徒実態(令和7年度各種調査結果より)

[学習面について]

【実力試験】(全国平均との差の比較)

1年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-8.0	-6.9	-6.1	-4.1	-1.5
第2回	-9.3	-14.6	-18.3	-11.5	-6.1
比較	-1.3	-7.7	-12.2	-7.4	-4.6
2年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-7.8	-8.9	-8.2	-10.6	-3.8
第2回	0.7	-6.8	-8.8	-6.3	-4.7
比較	8.5	2.1	-0.6	4.3	-0.9
3年	国語	社会	数学	理科	英語
第1回	-5.0	-10.8	-10.9	-0.9	-6.9
第4回	-0.8	-6.6	-6.0	7.2	-8.1
比較	4.1	4.2	4.9	8.2	-1.2

【三次市学力到達度検査】

1年	国語	社会	数学	理科	英語
本校	58.7	51.1	47.1	45.9	50.0
全国	63.0	55.9	57.0	57.6	51.9
比較	-4.3	-4.8	-9.9	-11.7	-1.9
2年	国語	社会	数学	理科	英語
本校	75.7	59.4	52.3	54.7	53.8
全国	70.2	52.6	50.5	50.5	51.0
比較	+5.5	+6.8	+1.8	+4.2	+2.8

【全国学力・学習状況調査】			
3年	国語	数学	理科
本校	55	43	45
全国	54.3	48.3	48
比較	+0.7	-5.3	-3

【実力試験より】

全国平均を基準としたとき2学年では3科目、3学年では4科目で、第1回目よりも第2回目(3学年は3回目)のほうが数値の向上がみられる。また、第2回目では、2学年は1科目、3学年では1科目が全国平均を越えている。

【三次市学力到達度検査より】

1学年においてはすべての教科において全国平均を超えることができなかった。2学年においては5教科において全国平均を越えた。

【全国学力・学習状況調査より】

国語は全校平均を超えることができたが、数学・理科は越えることができなかった。

以上の結果より、学年が上がるにつれて学力が向上しつつあるが1年生においては学力の定着に課題がみられる。

[みよし学園が育成を目指す資質・能力について]

【i-check】

(主体性)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
21 あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。	72.9	65.2	76.9	62.9	71.4	78.9
22 あなたは、ものごとを行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか。	79.2	78.3	74.4	77.1	91.4	86.5
89 夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	62.5	60.9	66.7	71.4	68.6	57.9

(協調性)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
28 学校生活の中で、クラスのみんなが、あなたに注目してくれることがありますか。	41.7	50.0	46.2	62.9	40.0	42.1
30 学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。(授業とは、体育など全ての教科の授業を指します)	37.5	56.5	51.3	60.0	51.4	42.1

(コミュニケーション能力)

質問項目 (i-check)	1年		2年		3年	
	1回	2回	1回	2回	1回	2回
45 クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	64.6	58.7	64.1	71.4	65.7	73.7
46 あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。	25.0	19.6	30.8	22.9	28.6	23.7
47 クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思	52.1	52.2	56.4	71.4	51.4	60.5

ったことは、それを主張することができますか。						
48 あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。	37.5	39.1	41.0	60.0	48.6	55.3
49 クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか。	43.8	34.8	51.3	62.9	57.1	60.5

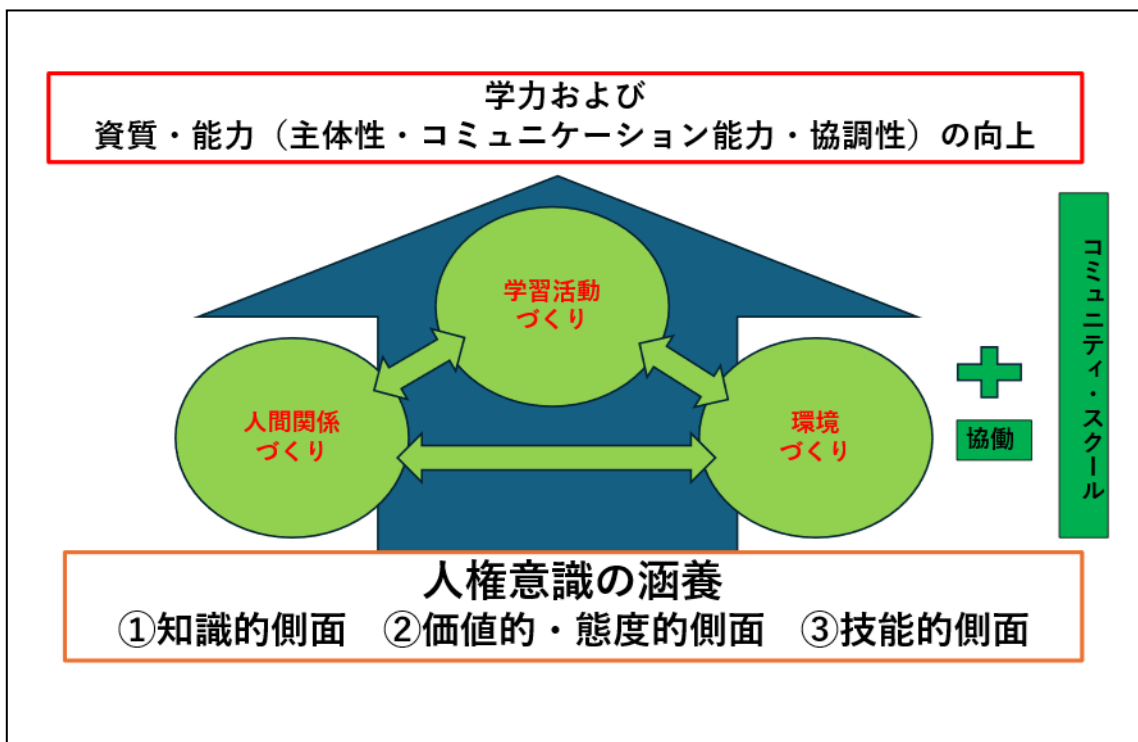
【資質・能力アンケートより】

全体として1回目と2回目を比較すると、すべての資質・能力において全国平均を下回ってしまったが、コミュニケーション能力と協調性については全国平均との差が減少した。向上した。

以上の結果より、学年が上がるにつれて資質・能力も向上したが、学年が下がるにつれて全国平均との差が大きい傾向がある

3 今年度の取り組み

① 研究構想図



② 取組内容

- 【取組内容】
- ① 学習活動づくり
- 1) 一人一人が大切にされる授業
- ・個別最適で協働的な学びの場の設定
 - 【具体例】「単元内自由進度学習の挑戦」
 - ・単元の見通しを持たせ、進める生徒はどんどん進ませる。進めない生徒は、評価がBになるように個別の支援や課題を与える。・発展的な学びのための生徒へのしかけ(自身のさらなるレベルアップへの挑戦)「Step up」
 - 【具体例】「発展問題を与える」「考えを説明させる」「課題を設定させる」
 - ・基礎・基本の定着のための生徒への手立て(授業に参加)「Motivation」
 - 【具体例】「ドリル学習の実施」「学びを調整させ、生徒に主体性をもたせる」

② 人間関係作り

1) 互いのよさや可能性を認め合える仲間

- ・学びを深め、新たな課題を設定する場の設定(自分の考えを表現する)「Presentation」

具体例「アウトプット型の授業の確立」

- ・気付きや考えを全体の場で発表させる
- ・授業のまとめを発表させる
- ・「なぜ？」を大事にし、繰り返し発問で授業をつなぐ。
- ・そうじ・運動会・学校レク等における縦割り班活動を通じた異学年交流
- ・生徒間の絆を強め、望ましい人間関係を育成するためのバースデーカードの取組
- ・SCと協働した構成的グループエンカウンター
- ・生徒の頑張りを認める皆勤賞の表彰

③ 環境づくり

1) 安心して過ごせる環境づくり

- ・休憩時間に教職員が生徒の様子を見守る生徒指導体制の構築
- ・年間3回いじめアンケートの実施によるいじめ等への早期発見・早期対応の徹底
- ・挨拶運動や環境整備等コミュニティ・スクールと協働した安心して過ごせる学校環境の構築
- ・人権ハートかがやきメッセージ展への応募
- ・児童・生徒・保護者・地域の方々と協働した校区内の一斉ボランティア清掃活動
- ・市立図書館司書と連携した人権図書コーナー

4 検証方法【指標】

(1) 学力調査

① 三次市学力到達度検査【全国平均以上】

② 各種実力試験【1・2学年:第1回目と第2回目の比較, 3学年:第1回目と第4回目の比較】

(2) 総合質問紙調査(i-check) (全学年)【第1回と第2回の比較】

・主体性

- (21) あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。
- (22) あなたは、ものごとを行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか。
- (89) 夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。

・協調性

- (28) 学校生活の中で、クラスのみんなが、あなたに注目してくれることがありますか。
- (30) 学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。(授業とは、体育など全ての教科の授業を指します)

・コミュニケーション能力

- (45) クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。
- (46) あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。
- (47) クラスの多くの人や仲のいい友だちと意見がちがっても、自分が正しいと思ったことは、それを主張することができますか。
- (48) あなたは、学校生活の中で発言をするとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。
- (49) クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、提案していますか。

5 研究推進計画と内容

月	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進計画の修正と研修計画の確認 ・全国学力・学習状況調査 ・校内研修:人権教育について
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流週間(1回目)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業(第1回) ・三次市学力到達度検査実施
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・i-check(第1回)実施, ・授業交流週間(2回目)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修(自分の考えを表現する場の設定「学びを深める場」について)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業(第2回)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流週間(3回目) ・生徒アンケート(1回目)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回広島県中学校人権教育研究大会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の検証と今後について ・授業交流週間(4回目)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・i-check(第2回)実施授業
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート(2回目) ・授業交流週間(5回目)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめと次年度に向けた推進計画の作成